

# 株式会社山崎建設 環境行動計画

平成 26 年 2 月 17 日

## 取 組 方 針

株式会社山崎建設は、『日頃の小さな工夫の積み重ねが、大きな技術の改善につながる』ことをモットーに、公共事業を中心に事業をしています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 工事部門、事務部門における廃棄物の削減

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 26 年 2 月 17 日

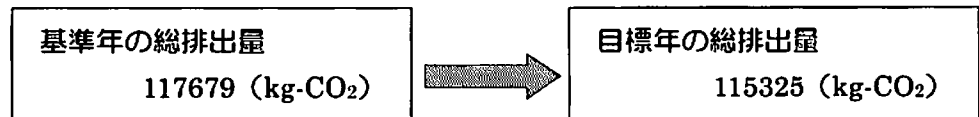
株式会社山崎建設

代表取締役 山崎 外志夫

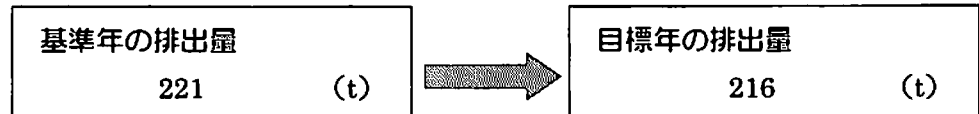
### 3 環境負荷の低減目標

平成 27 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成 25 年です。）

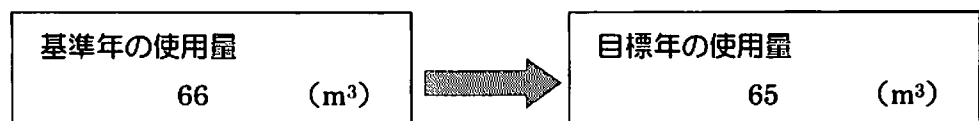
【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 2%削減する



【目標 2】 産業廃棄物の排出量を 2%削減する



【目標 3】 水使用量を 2%削減する



### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

（輸送・移動部門での活動）

- ・ 昼休みと休憩時間には、重機・ダンプ等、使用していない車両等のエンジンを切る
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車両等の定期点検を徹底する
- ・ 車両運転始業時の点検を励行する。
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする
- ・ 車両終了時の清掃

（事務・営業部門での取組）

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ エアコンを使用するときはサーキュレーター等を併用し空気を循環させる
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける

【取組 2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

（産業廃棄物）

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 製造工程から発生する金属くずは全てリサイクルする
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する

- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する
- ・ ウエス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 生ごみをコンポストで堆肥化し敷地内の植栽に使用する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

## 5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。